

遠野



この道ひとすじ 技 —わざ—

今では市内でも希少な装蹄師として長年従事・現役の宮守町下宮守の熊谷五吉さん（85歳）。満州事変当時は軍馬が華やかな時代で、第2次大戦中は蹄鉄工として大陸にも渡り、シベリアでの抑留も経験している。若いときは競技会にも出場し、全国大会での入賞などを果たしている。現在は農耕馬がめっきり少なくなってきたが、県内の各種まつりの時期前に依頼を受けることが多くなったという。装蹄作業では、削蹄（ひづめの底を削る）が一番重要とのこと。

主な内容 1月臨時会・3月定例会



- 旧市村の決算認定される
- 新市の18年度予算を可決
- 一般質問で11名が市政を問う